



『愛してるよ、カズ』(9月12日) を振り返って・・・

<みんなの感想より>

- 命には限りがある。でもあるからいろいろなことを頑張れると思った。悔いのない毎日を過ごしたいと思う。「ありがとう」とかもいっぱい言いたいと思う。お母さんに「愛してるよカズ」って言っていたカズくんはほんまに幸せやったと思う。自分も妹ともっと仲良くしていこうと思った。(1組女子)
- 命に限りがあった方が大切にできる時間が存在するので、今を大事にと思いました。もし限りがなかったら、楽しめることも本気で楽しめないので、精一杯生きる大切さが分かりました。(1組男子)
- 命に限りがあるのは、怖くて、死にたくないと思うけど、永遠の命があるなら、そんな気持ちも芽生えないんだと思った。全てのことに無関心になるんじゃないかと思った。それなら限りある命の中で、幸せに一生懸命に生きるのが良いなと思った。限りがあるから、生きる意味があると分かった。(2組女子)
- 子供の頃は、死ぬという実感がなく、なんとなく行動して、食事していた。今でも、将来のことが決めれず、とりあえずあの高校に入っとこうとか、そういう軽い気持ちで生きていた。でも、この授業で、自分がこれから生きていく人生を、意味あるものにしようと思った。食事もしっかり味わって、スポーツも真剣にやって、勉強も集中していこうと思う。死ぬ時に、後悔しないように、友達や家族、関わった全ての人々にありがとうと言える人生にしたい。(2組男子)
- 今日のビデオを見て、命は大切なだと改めて強く感じました。ビデオに出てきたカズくんは、家族に「宝物」と言ってもらえるような存在で、でもそこには苦しいことも沢山あったのだと思いました。このビデオを見て、一日一日を濃い毎日にして、人に大切にされたり、大切にするような楽しい人生にしたいな、そう生きたいなと思いました。(3組女子) カンマでお願いします！
- 時間をむだに使わずに生きる。今日の授業を受けて思ったことは、自分もそうだけど友達や家族を大切にしたいと思いました。今のうちにできることを、なるべくできるようにしたいし、長生きすればその時にしたいことが見つかると思うので健康に生きていきたいと思いました。(3組男子)
- 命の大切さについて改めて知った。もし、自分の家族や知り合いが、急に「死んだ。」と言われたり、その場にいたりしたら、きっとすぐに立ち直れないぐらいどん底に落とされると思う。亡くなった後に、「なんで最後があんな別れ方なんだろう。」とか、「もっとこうしとけば良かった。」と、後悔しないように、一瞬一瞬を大切にしていきたい。(4組女子)

- 今まで自分は普通に生きてきて、周りから人がいなくなるなんてことはないけれど、今日のビデオを見てやっぱり命は大切だと思った。これから命がある限り人に感謝の気持ちをたくさん伝えられたらいいなと思う（4組男子）
- カズサ君は短い人生の中でたくさん愛をもらっていたからこそ、最後の最後まで、頑張って生き続けたのだと私は思う。カズサ君はいつも笑顔で、家族や友達、たくさんの人々に愛されていたんだろうなと思った。私は毎日、何も命の大切さなどを知らずに生きていた。しかし、カズサ君のように小さな子供の命が失われていると知り、今、自分が健康で元気に生きてこられた事にすごく感謝しなければいけないと思った。いつ何が起こるか分からないが、これから私は毎日笑顔でいることを心がけ、くいのないような人生をおくりたいと深く心に刻みこまれた。（5組女子）
- 命は人でしかつくれないもの、命にはどんな生き物でももっているものだが、一つひとつ違うものだと思う。運がなく早く尽くる命、何も心配せずに大人にまで生きれる命などがあることを実感した。だから、自分がどれほど幸せなのかがよく分かりました。（5組男子）
- まだあんなに小さいし、がんとたたかってきてつらいはずなのに、ずっと笑顔で最後の一秒まで命を大切にしてきたカズくんはすごいと思うし、そんなカズくんを支えてきたお母さんや家族、お母さんの「愛してるよ」はきっとカズくんにとっての一番の「くすり」だったと思う。それに、毎日カズくんを楽しい所に連れて行ったりしていたから、きっとカズくんには、たくさんの笑顔と思い出があったと思う。（6組女子）
- 僕は、明日自分の命がなくなるなんて事はまず無いと思い、今を何気なく過ごしているけど、映像の子のように、明日自分がどうなっているのか分からないような子は、一瞬を大切にして過ごしてはいるんだろうなと思った。時間の進む速さはみんな同じだけど、時間の価値は一人一人違っていて、それを決めるのは自分自身なんだと分かった。（6組男子）